



2025年のアメリカ高等教育

2025年9月6日(土)13:30～16:00

開催方法
ハイフレックス

対面会場

参加費
無料

東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟A200
(オンラインのURLは申込者全員へ別途案内いたします)

現代社会の変化は急速だと言われますが、今年2025年のアメリカほど、大学が大きな変化を経験することはなかったかもしれません。この急激な変化に対して、大学経営・政策コースの博士課程学生グループは、急きよ共同研究プロジェクトを立ち上げました。本シンポジウムは、全2回のシリーズ開催として、現在のアメリカの大学の現状と展望を深く掘り下げます。第1回目となる今回は、現在起きていることの背景と、連邦政府側の動向に焦点を当てます。連邦政策、財政、社会動向、そして学術コミュニティ内の議論といった視点から、数年前から起きていた動向を含めて、アメリカの高等教育の現状を報告します。大学における教育、研究、公共性、学問の自由等に关心のある方の参加をお待ちしております。

プログラム

趣旨説明・進行(東京大学大学院教育学研究科教授 福留東士)

発表1:アメリカの大学を取り巻く連邦政策の最新動向(高見英樹)	発表2:アメリカの大学財政をめぐる連邦政策の最新動向(中村祥子)
発表3:アメリカの大学キャンパスと反ユダヤ主義(長沢誠)	発表4:現代アメリカ高等教育における反知性主義の構造(松村彩子)
発表5:アメリカ高等教育における反DEIの背景(吉田翔太郎)	発表6:アメリカの大学における女性研究者支援:歴史と現状(木原友紀)

質疑応答・閉会の辞※発表順は前後する場合がございます。

- 申込方法:<https://forms.gle/ULrdG4wTBHHmpS2e9> あるいはQRコードから
- 注意事項:定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございます。
- ご登録いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営のみに利用いたします。
- 第2回シンポジウムは、2025年11月頃の開催を予定しており、大学側の動きを中心に据えた内容となる予定です。詳細は改めてご案内いたします。



企画者:東京大学大学院教育学研究科教授 福留東士